

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
文学B		文学と宗教		玉置 文弥	1年次後期	2
科目区分	基礎	キーワード	宗教、「世直し」、高橋和巳、『邪宗門』			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		文学A				
講義の目的	「宗教」と聞くと、怖いかいかわしいと思う人も多いと思います。しかし、近現代日本においては様々な宗教の「世直し」という考え方が、多くのふつうの人々を捉え、実際に大きな影響力を持ってきました。なぜでしょうか？本講義では、そんな時代の宗教について描いた小説の読解を通じて、当時の社会状況や精神状態がどのようなものだったかを考えていくことを目的とします。					
到達目標	本講義でとりあげる小説（高橋和巳『邪宗門』）の文章に触れることで、その内容・構造がどのようなものなのかを理解し、近現代日本における宗教の存在と、文学と宗教の関わりについて考えるきっかけをつかむことを目標とします。					
講義内容	高橋和巳『邪宗門』のテキストの読解と、それにかかわる近現代日本の歴史や社会状況の解説を中心として進めます。これを通して、文学と宗教というテーマを考えます。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	ガイダンス	講義の全体像・ねらい・評価方法の説明と質疑応答			
	第2講	「宗教」とは？	「宗教」と主に「世直し」思想の解説			
	第3講	現代の「宗教」とは？	現代における「宗教」についての解説・発表			
	第4講	高橋和巳とは誰か？	高橋和巳に関する基本的知識の紹介とその問題意識の検討			
	第5講	『邪宗門』とは？	『邪宗門』の概要と必要知識の説明			
	第6講	文献講読①	「序章」の読解・解説①			
	第7講	文献講読②	「序章」の読解・解説②			
	第8講	文献講読③	「第一章 廃墟」の読解・解説			
	第9講	文献講読④	「第二章 再建会議」の読解・解説			
	第10講	文献講読⑤	「第三章 薪造り」の読解・解説			
	第11講	文献講読⑥	「第四章 疑惑と苦渋」の読解・解説			
	第12講	文献講読⑦	「第五章 慎ましい日常」の読解・解説			
	第13講	文献講読⑧	「第六章 予審決定」の読解・解説			
	第14講	文献講読⑨	「第七章 晦日から新年へ」の読解・解説			
第15講	まとめ	全回の振り返り				
指導方法	基本的には講義形式で行います。ただし、授業内で自分の考察・感想を書く機会や質問に答える機会があります。					
事前学習	事前に示した文章を必ず読んできてください。1時間半程度を目安とします。					
事後学習	講義内容を振り返るために、講義ノートやレジュメ、配布テキストなどを読み直してください。1時間程度を目安とします。					
成績評価方法	本試験（レポート）50%、平常点（授業内レポート）50%					
テキスト	ありません。適宜解説する文章やレジュメなどを紙媒体などで配布します。					
参考書籍	授業で紹介します。					
特記事項	学生の興味・関心や進度に応じて、講義内容が前後したり内容が変更される場合があります。					